

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

令和4年5月31日
新潟県農林水産部

〔5月30日現在の県内全域の生育概況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「多い」、葉数の進みは「並」状況です。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「並」、葉数の進みは「やや遅い」状況です。

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 5月26日発表の1か月予報（5月28日から6月27日）では、平均気温は前半は低温傾向であるが、平年並か高く、降水量は平年並か多く、曇りや雨の日が多いと予想されています。
- ◎ また、ラニーニャ現象が続いており、梅雨入りが平年より早くなり、気温が高くなる可能性が考えられます。
- ◎ 気象予報を踏まえると、コシヒカリでは茎数が多めに推移する見込みであることから、中干し^{*1}の時期が遅れると梅雨と重なり、十分な効果が得られません。
- ◎ 県の調査ほ（田植日の平均は5月11日）における生育状況では、今年の中干し開始適期は田植後日数で30日（県平均の田植日では6月10日）と予測されます。適期より中干しが5日遅れた場合、茎数は目標値の1.4倍に急増すると予測されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔今後の管理対策のポイント〕

コシヒカリ

- ◎ 連休植えのほ場や生育の早いほ場では、まもなく中干し適期に入ります。
- ◎ 今後、茎数の増加が旺盛となり、過剰生育が懸念されることから、田植後25日を過ぎたら生育を必ず確認し、適期に中干しを開始するとともに、溝切りを確実に実施し、中干し効果を高めてください。
- ◎ 地温の上昇にともない、田のワキ^{*2}の発生が多くなることが予想されます。生育が遅れ、ただちに中干しに入れないほ場では夜間落水等によるガス抜きを行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

新之助

- ◎ 補植苗はいもち病の伝染源となるため、ただちに除去してください。
- ◎ 目標穂数の7～8割の茎数を確保したらただちに中干しを開始し、過剰生育を防ぎましょう。特に、化成の全量基肥施肥^{*3}では今後茎数が急増しやすいため、中干し適期を逃さないよう注意しましょう。
- ◎ 5月20日以降の田植えでも、気温の上昇により茎数の急増が予想されるため、分けつの発生状況に十分留意し中干しの開始が遅れないようにしてください。

*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

*3 全量基肥施肥：全生育期間に必要な肥料成分を、田植え前又は田植え時に一括して施す施肥法

- ◎ 今後の管理対策発信予定日

7月1日・12日・26日、8月8日、9月8日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（5月30日現在）

コシヒカリ

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「多い」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	24 cm	23 cm	並	104%
茎数	105 本/m²	90 本/m ²	多い	115%
葉数	5.0 葉	4.8 葉	並	+0.2 葉

注) 県内全域の98生育調査ほデータの平均値

新 之 助

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「短い」、葉数の進みは「やや遅い」、茎数は「並」の状況です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	20 cm	24 cm	短い	84%
茎数	78 本/m²	81 本/m ²	並	96%
葉数	4.3 葉	4.8 葉	やや遅い	-0.5 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月16日、栽植密度16.0株/m²）

こしいぶき（参考）

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」の状況です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	21 cm	22 cm	並	97%
茎数	106 本/m²	126 本/m ²	少ない	84%
葉数	5.2 葉	5.5 葉	並	-0.3 葉

注1) 化学肥料栽培。田植え5月11日、栽植密度22.2株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2 気象感応ほの生育から見たコシヒカリの中干し適期の予測（5月30日現在）

- コシヒカリの目標穂数 350 本/㎡の 70～80%（茎数で 240～280 本/㎡、50 株/坪植えて 1 株あたりの平均茎数 16 本程度）となる中干し適期は、5月30日現在の予測値で6月10日、田植後日数は30日となっています。

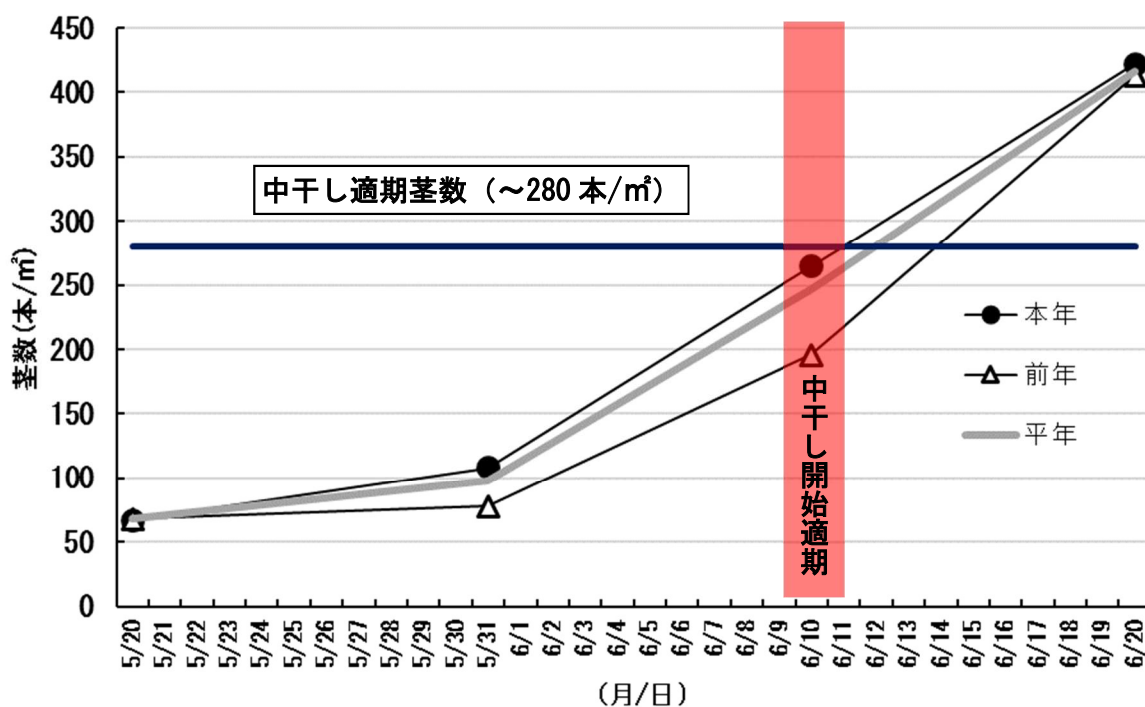
（1）コシヒカリの中干し適期の予測（全県の気象感応ほ 14 か所の平均）

項目	播種期 (月日)	田植日 (月日)	栽植密度 (株/㎡)	5/30 茎数 (本/㎡)	中干し開始適期予測	
					月日	田植後日数
本年	4月20日	5月11日	16.7	108	6月10日	30
前年	4月19日	5月12日	17.0	78	6月13日	32
平年	4月18日	5月12日	17.0	99	6月11日	30

注1) 本年は、2001～2020年のデータから予測式を作成、本年5月30日現在の茎数と6月10日までの平均気温（メッシュ農業気象データの気温予測に基づく）から、中干し適期(280本/㎡となる時期)を予測

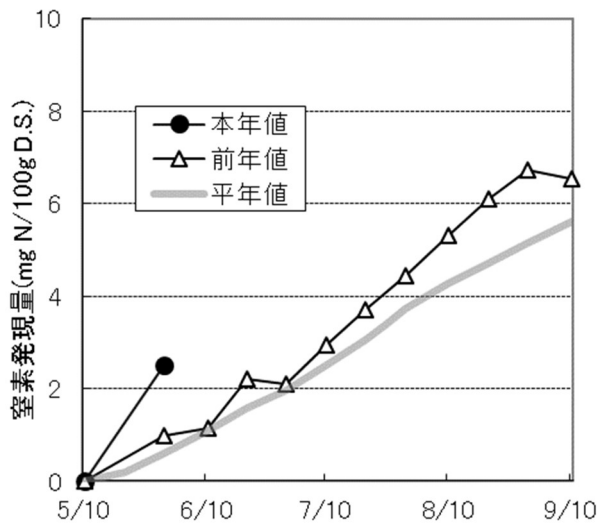
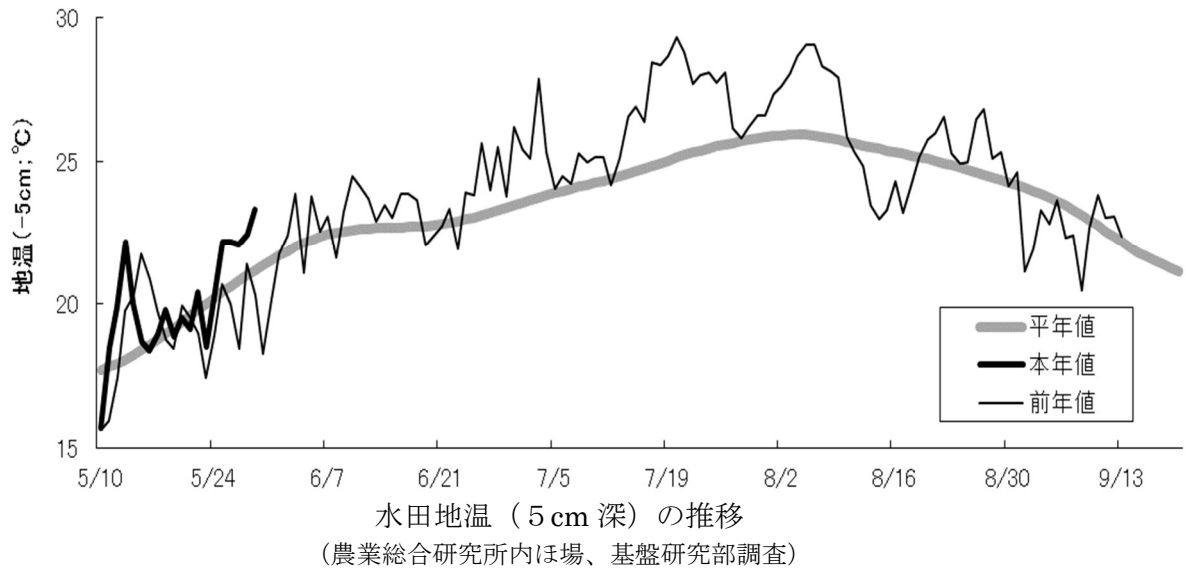
注2) 前年及び平年（過去10年の平均）は、茎数の実績から予測

（2）コシヒカリの推定茎数の推移（全県の気象感応ほ 14 か所の平均）

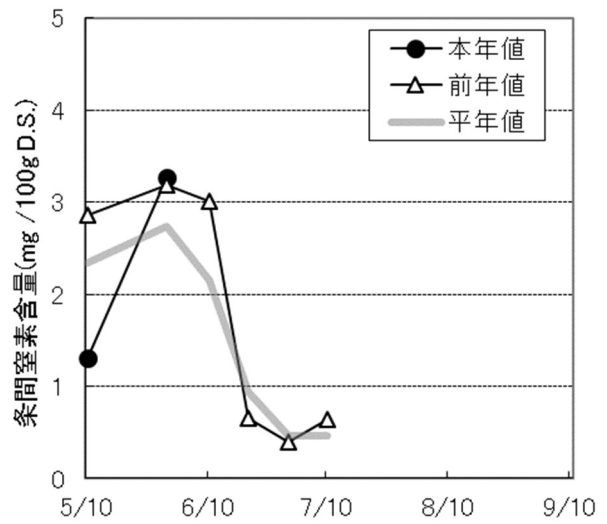


3 ちりよく 地力窒素の発現状況

- 5/10～5/29 の期間の日平均地温は平年差+0.7℃で平年より高く推移しました。この期間の地力窒素の発現量は、5/9 時点の地力窒素の発現量が少なかったため、平年より多く、条間窒素も平年よりも多く前年並となっています。



地力窒素発現量の推移(5月30日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
初期値=0、田植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(5月30日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
田植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a